

教育現状と取り組みについて、ほか

一般質問



衣笠 利則 議員
(21 政会)

問 幼児教育の重要性について、学校備品予算の付け方について、地域を取り込んだ学校教育について。

答 幼児教育は大変重要であり、加西市としてさまざまな分野で真剣に取り組んでおり、今後も幼児園、こども園とともに幼児教育を進めていきたいと考えています。

予算、地域教育についても、学校とよく相談をして進めていきたいと考えています。

問 加西市の今後の農業について、どのように考えておられるか。

①加西市の農業の現状、②農業者団体の組織とは、③地産地消について、④農産物の直売所の計画について

以上の4項目については地域振興部長より答弁をいただきましたが、割愛させていただきます。

答 (市長) 新規就農者を今後も積極的に進めていきたい。その第一歩が加西の農業の復興で、最初に山田錦の作付面積の拡大で、2年前は290ヘクタールが、今年度は520ヘクタールで、

230ヘクタールもふえており、加西市が今まで取り組んできた集落営農組織を1集落1農場の経営にし、法人化して集落の農業の将来像をしっかりと描くことを進められております。

また、新規就農者支援策としての補助金制度を活用し、6名が対象となり頑張っておられます。

次に、加西市の農産物の直売所(道の駅)ですが、人口の流れを何かの物でつくっていくには、道の駅は大事なものです。各農家、家庭でできた野菜が道の駅で直売できれば、健康で長生きできることになると考えています。

加西の農業を地域創生の目玉にし、都会で注目される加西市をつくっていききたいと考えています。

鶉野飛行場跡地整備計画について、ほか

一般質問



原田 久夫 議員
(21 政会)

問 鶉野飛行場跡地へのアクセス市道整備について。

答 市道鶉野飛行場線と三木穴粟線の接続と、市道鶉野門前線を鶉野飛行場線に振り替えるの整備を今現在計画中です。また、中野家塚線についても、中野の交差点またはフラワーセンターからのアクセス道路となっているため、年次計画を立て順次整備したいと考えています。さらに、剣坂野条線も鶉野周辺整備が完了しますと交通量の増加が見込まれるため、将来にわたって整備する計画です。

ただ、全ての路線を一気に整備

するとなると、莫大な費用がかかるため、年次計画をしっかりと立て、5年～10年の間に整備していく予定です。

問 加西中学校プール授業中の安全管理について。

答 生徒は校舎敷地より市道を歩いて移動しており、その際には交通安全についても配慮していますが、今後、鶉野飛行場跡地の整備により、さらに交通量がふえることから、交通面、また、授業面、衛生面あらゆる面からの安全対策について懸念しているところです。

問 加西中学校プール移転計画について。

答 校舎敷地内へのプール移転が検討されていましたが、喫緊の課題であった学校施設耐震化事業への予算確保が最優先とさ

れたため、移転が実現せずに現在まで至っています。

今、時代の変遷、費用対効果等を踏まえ、加西市全体のプールのあり方について検討する時期になったと認識しています。限られた予算をより効果が出る施策へ展開していく必要があるとも考えておりますが、今後学校現場との協議を早急に行いプールのあり方について検討し、設置すべきと結論が出た場合は、早急に整備する必要があると考えています。

■その他の質問項目

- ・加西中学校プール施設の現状について
- ・鶉野飛行場跡地整備計画の現状について
- ・鶉野飛行場跡地の整備年次計画について
- ・国道372号バイパス計画進捗状況について